

高等学校第1学年 公民科（現代社会） 学習指導案

期 日 平成23年10月21日(金)第5校時

場 所 熊本県立鹿本農業高等学校1年教室

指導者 教諭 井上 祥

1 単元名

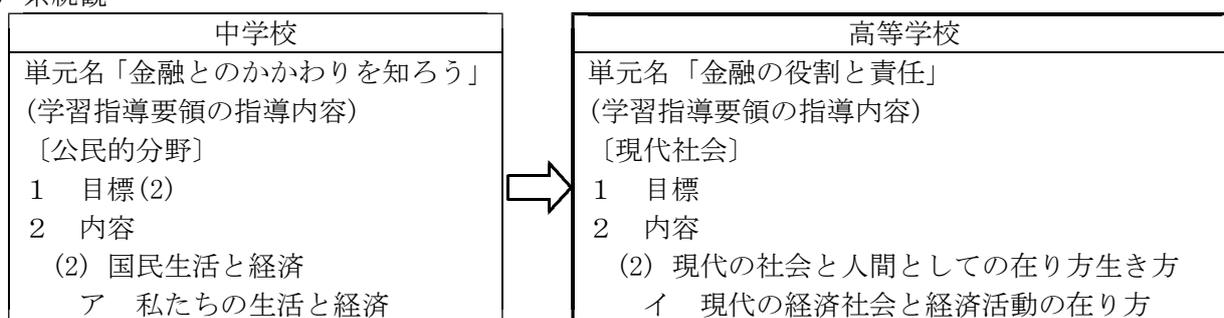
「金融の役割と責任」（帝国書院）

2 単元について

(1) 単元観

金融概論の単元である。現代の経済社会において、金融機関が資金の貸し手と借り手の間に立って資金を安全かつ有効に仲介することの意義を理解させるとともに、金融の国際化や自由化による国民生活への影響について気付くことができるようにしたい。その際、例えば金融機関の仲介により国民の多額の貯蓄を企業が生産活動に活用していることを取り上げるなど、身近で具体的な事例を通して学習を展開することが大切となる。

(2) 系統観



(3) 生徒観

○現代社会の授業では、反応が大変活発である。生徒が積極的に授業に参加するがゆえに予定の内容を終えられないこともある。ただし、内容によってはすべての生徒が一様に積極的であるとは言い難い面もある。また、経済分野の授業では内容が難解に感じられるのか、これまでと比較すると学習に集中することが難しい生徒が増えたように感じられる。事前調査では現代社会の授業を「あまり好きではない」と答えた生徒が6割以上いた。

○中学校公民的分野で金融などの仕組みと働きについて学習しているものの、事前調査によると、銀行などの金融機関についてほぼ全員が「現金保管所」として認識している。また、7割近い生徒が銀行の利用経験が「ない」と回答している。

○教育上特別な支援を必要とする生徒（以下対象生徒）についての実態は次のとおりである。

- ・自分の意見を言うことや、自分から質問したり、話しかけたりすることが苦手である。
- ・記憶の苦手さがあり、学習内容を理解しているのか把握できないことがある。
- ・書くことに関しては抵抗感はない。

(4) 指導観

○導入時に生徒の実態や特徴的な金融機関の商品の提示をして学習課題を明確に提示することで、興味・関心や見通しを持って学習課題の解決に主体的に取り組めるようにする。

○具体的な事例を視覚的に提示したり、グループでの学習を取り入れたりすることで、金融機関の役割について主体的に考えることができるようにする。

○視覚的な情報を効果的に提示するためにプレゼンテーションソフトを活用する。

○生徒の行動観察や自己評価シートの活用により、興味・関心や理解度の把握と評価を行う。

○教育上特別な支援を必要とする生徒に対する支援の手だては次のとおりである。

- ・書くことに苦手さはないが、コミュニケーション面の課題があることから、自分の考えを書く時間を確保し、少人数のグループの学習の中で自分の考えを表現できるようにする。
- ・話しやすい状況をつくるために、グループ編成のメンバー構成に配慮する。

Bプロジェクト学習評価と指導の改善の視点から	
特別支援教育の視点から、教育上特別な支援が必要な生徒の特性に配慮した分かりやすい授業を実践するとともに、関心・意欲・態度をどう評価し、指導の改善に生かすのかを考えていきたい。 (研究の視点)	
①	分かりやすい授業づくり
②	教育上特別な支援が必要な生徒への特性に配慮した指導の工夫
③	関心・意欲・態度の観点の評価基準の作成と評価

3 単元の目標と評価規準

単元の目標	現代の経済社会における金融機関の働きについて理解するとともに、経済活動における社会的責任について考える。
関心・意欲・態度	金融機関の役割について興味・関心を持っている。
思考・判断	金融機関の役割や金融政策の現状を考察している。
技能・表現	資料から金融の役割を説明できる。
知識・理解	金融の役割を理解している。

4 指導・評価の計画（2時間取扱い 本時1／2）

次	時	学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点 ※プロジェクトの視点から	評価基準(基準B) (評価方法)
1	1 (本時)	金融の役割と現状について理解する。	※導入時に金融機関への興味・関心と課題解決への意欲を高める。 ※金融機関の役割について意見交換がしやすいように、グループでの学習を取り入れる。 ※自己評価シートを活用して自己評価及び感想記入を行う。	関心・意欲・態度 (観察・学習シート・自己評価シート) 金融の役割について興味・関心を持って意見交換をしたり、感想を持ったりしている。 知識・理解 (学習シート) 金融機関の役割を理解している。
	2	中央銀行である日本銀行の働きについて理解する。	○前時の学習内容と関連させながら日本銀行の役割が理解できるようにする。	知識・理解 (学習シート・観察・自己評価シート) 日本銀行の役割を理解している。

5 本時の学習

(1) 目標

金融の役割と責任について興味・関心を持つことができる。
金融機関の役割を理解することができる。

(2) 評価基準

○関心・意欲・態度 (観察・学習シート・自己評価シート)

(基準B) 金融の役割に興味・関心を持って意見交換をしたり、感想を持ったりしている。

(基準A) 金融の役割に興味・関心を持って意見交換をしたり、金融機関の努力と関連づけながら重要語句を使って感想を持ったりしている。

○知識・理解

(基準B) 金融機関の役割を理解している。

(基準A) 金融機関の役割や社会的責任を理解している。

(3) 展開

過程	学習活動【学習形態】	○主な発問・指示	○指導上の留意点及び評価 ◎対象生徒に対する指導上の留意点及び評価 ※Bプロジェクトの視点	備考
導入 10分	<p>1 学習課題へ興味・関心を持つ。 (1) 事前調査の結果を知る。 (2) 金融機関独自の商品を見て考える。</p> <p>2 学習課題を把握する。</p>	<p>○みなさんは銀行は何をするところだと思っていますか。 (事前調査の結果を示す)</p> <p>○どうして金融機関は独自の商品を出しているのだろう。</p> <p>○学習シートにも記入してください。</p>	<p>※日ごろの生徒の金融機関との関わりや金融機関独自の商品を視覚的に提示することで学習課題に興味・関心が持てるようにする。 ◎学習内容に興味・関心を持っているかを観察する。 ※見通しを持って課題解決ができるようにする。</p>	<p>実態調査の結果 金融機関独自の商品の図 パソコン プロジェクト</p>
<p>銀行などの金融機関はどのような役割をしているのだろうか。</p>				
展開 30分	<p>3 金融機関の役割を考える。 (1) 信用創造の仕組みを理解する。</p> <p>(2) 間接金融、信用創造について知る。</p> <p>(3) 銀行の立場と企業の立場になって信用創造の仕組みについて考える。 【個人】 ↓ 【グループ】 ↓ 【一斉】</p>	<p>○銀行に預けた100万円がどうなっていくのかに注目して見てください。</p> <p>○何か感想や疑問に思ったことがあったら発表してください。</p> <p>○銀行が仲介してお金を融通しています。 ○このようにして、信用貨幣が創り出されています。</p> <p>○銀行や企業はこのようなりとりの中でどのようなことを考えるでしょう。</p>	<p>※代表の生徒が銀行と企業の立場で具体的にやりとりを行うことで信用創造の仕組みについて理解できるようにする。 ○疑問や感想があれば発言するように促す。</p> <p>○間接金融や信用創造の言葉について説明し、シートに記入させる。</p> <p>※◎立場（銀行側と企業側）を明確にして、自分の考えを学習シートに記入し、それを基にグループでの話し合いで考えが出せるようにする。 ※◎少人数のグループ編成を行うことで、話し合いがしやすいようにする。 ○全体の場で考えを出し合い、信用創造が銀行と企業の信用関係により支えられていることを確認させる。 【評価：関心・意欲・態度（観察・学習シート）】</p>	<p>お金と通帳等の擬似具体物</p> <p>学習シート</p> <p>学習シート</p>
整理 10分	<p>4 金融機関の役割を確認する。 (1) 授業を振り返る。</p> <p>(2) 自分の言葉でシートにまとめる。</p> <p>5 学習したことを振り返る。【個人】 (1) 自己評価をする。 (2) 感想を発表する。</p>	<p>○金融機関の役割について授業を振り返ってみよう。 ○社会的に大きな責任もあることがわかったと思います。</p> <p>○金融機関の役割を自分の言葉で学習シートにまとめよう。</p> <p>○自己評価シートで1時間の授業を振り返ってみよう。</p> <p>○感想を発表してくれませんか。</p>	<p>○信用創造が成立しないと、社会全体が不安定になること、各金融機関は競争力を高めておく必要があることなど要点を押さえる。 ※◎まとめやすいようにキーワードを示しておく。 【評価：知識・理解（学習シート）】</p> <p>※具体的な前向きな自己評価ができるようなシートの様式にする。 【評価：関心・意欲・態度（自己評価シート）】</p>	<p>学習シート</p> <p>自己評価シート</p>